

トミザワ

オフイス・インテリア・レスポンス
取締役 本部長
池島 隆氏



タイルカーペット等の買い取り及び再販 購入費用を圧縮しレイアウトも自在

リサイクル事業展開 買取再販需要に伸び

トミザワ(東京都江戸川区)は、一都三県を中心に、オフィス家具・家電・各種通信シス・OA機器等の買取及び再販、設置工事等を展開する。現状回復工事や移転工事、オフィス及び店舗の新設等も行い、ビルの経営への関りにも深い。

元々倉庫業・配送業から始まったトミザワは、同事業との関りからモノの廃棄・処分も行って来た。オフィス移転時に廃棄される各什器も取り扱っていたが、その際に廃棄される什器の多さ及びまだ使用可能なモノに着目し、20年前に再利用を目的としたリサイクル事業を開始。これが現在展開するリサイクルショップ「Happy」へ繋がり、現時点で江戸川区、佐倉店、川崎店、川口店、タイ店舗、中古家電専門の西葛西店まで拡大している。

リサイクル事業では、タイルカーペットも扱う。昨今はカーペットの買い取りと再販の需要が伸びている。フロアカーペットは破れや極度の汚れでなければ買い取り、カーペットやテナントは廃棄費用を圧縮可能。また再生したカーペットを敷くことで、購入費用も抑えることができる。

新品と比較すると購入費は半額〜7割ほど。昨今コロナ禍に伴い、オフィス環境及び賃貸面積の見直しから縮小移転が増加。と同時に同社への依頼も増加した。コスト面や同事業の柔軟性などが好まれているようだ。

**改修でイメージ改善
昨今は助成金を活用**



▲置敷きのOAフロアとタイルカーペットの組み合わせ



▲カーペット次第で雰囲気も明るく

取締役 本部長の池島隆氏は「築年数の経った中小オフィスビルでは、貸室の床がPタイル(コンポジションビニール床材)の場合をよく見かけます。しかし昨今Pタイルのイメージとしては『古い』印象がある様で、このイメージ改善のために置敷きのOAフロア+タイルカーペットで対応するケースが増えていきます。タイルカーペットにより『グレードの高さ』や『重厚感』、『華やか』等を表現でき、リサイクル商材を使用すれば豊富なラインナップから様々なデザインが実現します。リサイクルが前提なので同じ商品・デザインを沢山抱えているのではなく、豊富なラインナップで応えることが強みです。中小サイズのオフィスやオフィス内の一区画の床デザインをオシャレに変える。といった提供が得意です」と語る。

ちなみにここ数年の改修で増えているのが木目調の床材・ルースレイタイル。比較的新しい床材で、水・シミ・疵に強く耐久性もある。導入コストは割高

だが長く使用できる耐久性と、デザイン性がと共々施工業者とも連携して、内装の改修や好まれてくる。昨今は補助金や助成金を活用し移転する企業が増え、移転と同時に社員のモチベーションや居心地の良さを意識して木目調のタイルを敷くなど工夫を凝らし、再販商材を使用しつつ検討しているとのこと。ビルは如何か。

▶什器含めてレイアウト変更も可能